

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

- 分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験 -

1. 今後の見通し

予測期間 2003年12月上旬から12月下旬までの旬別
 対象海域 道東海域、三陸海域、常磐海域
 対象漁業 :さんま棒受網漁業
 対象魚群 南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量 : 来遊量は極めて低い水準である。

(2) 漁場 : 漁船の操業は無く、漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量 : 12月上旬には断続的となり、来遊量は極めて低い水準となる。

(2) 漁場 : 12月上旬は、南部域で散発的な形成となる。12月中旬には消滅する。

3) 常磐海域

(1) 来遊量 : 12月上旬以降、平年をやや上回るものの減少し、12月中旬以降は断続的となる。

(2) 漁場 : 鹿島灘・犬吠周辺が主漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量			
	動向			
	漁場			
三陸海域	来遊量	----->		
	動向	断続的		
	漁場	南部		
常磐海域	来遊量	>	----->	----->
	動向	低位減少	断続的	断続的
	漁場	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

3.漁況の経過概要

(11月中旬)

1)道東海域

- (1)来遊量 :資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期同様、極めて低い水準にとどまった。また日別 CPUE の推移からの判断では、期の初めに1日だけ来遊量の多い日があったが、11月に入ってかなり低下した模様。
- (2)漁場 :厚岸大黒島南東 70 ~ 南南東 120 海里沖の漁場水温 8 ~ 11 台で漁場が形成された。漁模様は芳しくなく、期前半の内に消滅した。
- (3)魚体 :大 2 - 中 4 - 小 4 ~ 大 2 - 中 2 - 小 6 が主体。

2)三陸海域

- (1)来遊量 :資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期に比して若干低下した。また、前年の水準に比較してかなり高い水準を維持した。また日別 CPUE の推移から判断すると、期前半には中位水準の来遊であったが、期後半には低い水準となった模様。
- (2)漁場 :女川 ~ 金華山沖 20 ~ 60 海里の漁場水温 13 ~ 15 台に期前半に漁場が形成され、好漁もみられた。
- (3)魚体 :大 2 - 中 5 - 小 3 ~ 大 2 - 中 4 - 小 4 が主体。

3)常磐海域

- (1)来遊量 :資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期に比して急激な増大を示した。過去 14 年間と比較しても第 4 位と高い値を示した。また日別 CPUE の推移から判断すると、期を通して平年並みの水準の来遊があった模様。
- (2)漁場 :期前半には、相馬 ~ 塩屋崎の距岸 30 ~ 40 海里沖、漁場水温 15 ~ 16 で漁場形成がなされた。期後半には、鹿島灘 ~ 犬吠崎距岸 15 ~ 20 海里、漁場水温 15 ~ 21 台で漁場が形成され、好漁もみられた。
- (3)魚体 :大 2 - 中 5 - 小 3 ~ 大 2 - 中 4 - 小 4 が主体。